「災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査」 報告書

福岡県 国立大学法人 九州大学病院

令和6年12月

目 次

「災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査」報告書

「災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査」について	•••••	1
災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査結果 (在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、「在宅時医学総合? 施設入居時等医学総合管理料」の届け出がある病院・診療所)		3
災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査結果 (地域中核病院小児診療科)		9
災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査結果 (調査対象全医療機関の患者数総計)		15
添付: 「災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査」調	査票 	23

令和6年度福岡県小児等在宅医療推進事業 「災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査」について

近年、日本各地で災害が多発しており、福岡県でもその対策が急がれる。とりわけ在宅療養中の人工呼吸患者は、ライフライン確保や避難等で濃厚な支援を要する。

そこで、福岡県小児等在宅医療推進事業では、県内の在宅人工呼吸患者の実数と現況を把握することを目的に、「災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査」を実施した。

調査では、県内の在宅療養支援病院(125 病院)、在宅療養支援診療所(777 診療所)、「在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料」の届け出がある病院・診療所(内、在宅療養支援病院及び在宅療養支援診療所の届け出がない機関:455 機関)、200 床以上の病院小児診療科(以下、地域中核病院小児診療科)(44 病院)に調査票を送付した。

調査票の概要は以下の通りである。

対象:

令和6年6月1日~6月30日時点で、在宅人工呼吸指導管理料C107を算定している 患者とする。年齢は問わない。

*但し、令和5年度福岡県小児等在宅医療推進事業の「小児在宅医療に関わる医療 資源調査」で在宅中心静脈栄養法指導管理料C104を算定していた医療機関に関 しては、下記の条件を追加する。

<追加条件>

在宅中心静脈栄養法指導管理料 C104 を算定しているが、在宅人工呼吸指導管理料 C107 の要件を満たしている患者も対象とする。

項目:

- ·年齢(令和6年6月30日時点)
- ・居住地 (郡市区まで。郡は町・村まで)
- ・福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」への登録

【序文】

日本はその自然的条件から、さまざまな自然災害が発生しやすい。1960年代に制定され、 以降災害を契機に改定が繰り返されてきた災害対策基本法では、行政には災害対策本部と 防災計画の整備、地域住民には自らの災害への備え、生活必需品の備蓄、自発的な防災活動 への参加等の責務が定められている。また、阪神・淡路大震災を機に災害医療の必要性が認 識され、厚生労働省により災害派遣医療チーム (DMAT) が発足した。その後、東日本大震災、 ならびに熊本地震の経験から、小児周産期医療と災害医療との必要性が指摘され、災害時小 児周産期リエゾンの養成が開始された。リエゾンには医療的ケア児、とりわけ在宅人工呼吸 を要する重症児への災害支援の責務があるが、現時点ではその実数や居住地域、個別避難計 画等の情報を得る方法がない。

福岡県小児等在宅医療推進事業では、医療的ケア児者が在宅において、必要な医療・福祉サービス等が提供され、地域で安心して療養できるよう、福祉や教育などとも連携し、地域で在宅療養を支える体制を構築することを目的としている。地域で安心して生活するためには、災害対策も重要である。そこで令和6年度の調査では、医療的ケア児者の災害対策を目的に、在宅人工呼吸患者の全数把握を目指した。

【調査結果概要】

県内に在住している、在宅人工呼吸指導管理料C107 を算定している患者は総計 562 名で、年齢別では20歳未満は280名、20歳以上65歳未満は155名、65歳以上が127名であった。二次保健医療圏別では福岡・糸島が204名、粕屋29名、宗像25名、筑紫44名、朝倉9名、久留米52名、八女・筑後16名、有明20名、飯塚22名、直方・鞍手13名、田川14名、北九州92名、そして京築22名であった。

20 歳未満 280 名のうち、在宅療養支援病院・診療所、及び「在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料」の届け出がある病院・診療所で 133 名、地域中核病院小児診療科で 147 名が算定されていた。また、地域中核病院小児診療科では、20 歳以上 32 名が算定されていた。

福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」登録患者は総計 14 名(2.5%)であった。

この調査結果は、県内の災害対策計画・支援を担う行政機関、福岡県医師会と共有し、災害発生時には医療的ケア児の支援チームへの情報として提供を行う。本調査の患者情報が、 災害発生時の迅速・適切な支援に繋がることを期待する。

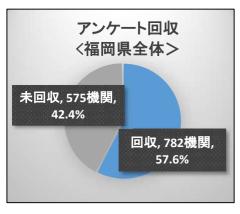
【謝辞】

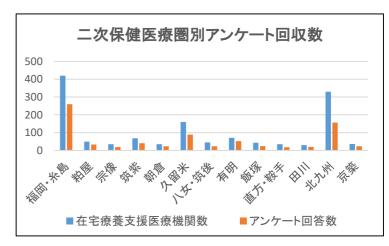
調査にご協力頂きました全ての医療機関、福岡県医師会、ならびに福岡県の関係者に深謝申し上げます。

令和6年度福岡県小児等在宅医療推進事業 災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査結果 (在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、「在宅時医学総合管理料及び 施設入居時等医学総合管理料」の届け出がある病院・診療所)

調査対象の医療機関数とアンケート調査票回収数

令和6年度の時点で、在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、及び「在宅時医学総合管理料及び 施設入居時等医学総合管理料」の届け出のある病院・診療所(以下、在宅療養支援医療機関)、 全1,357機関に調査票を送付し、782医療機関より回答を得た。回収率は57.6%であった。





(図1)

(表1) 在宅療養支援医療機関数とアンケート回答数

二次保健 在宅療養支援 アンケート 地域 医療圏 医療機関数 回答数 福岡・糸島 420 260 粕屋 49 33 福岡地区 宗像 35 20 筑紫 68 40 地区合計 572 353 朝倉 35 23 久留米 160 89 筑後地区 八女,筑後 45 23 有明 71 52 地区合計 311 187 飯塚 43 24 直方•鞍手 35 18 筑豊地区 田川田 30 21 地区合計 108 63 北九州 330 156 北九州地区 京築 36 23 地区合計 366 179 福岡県全体 県合計 1,357 782 (図2)

2. 調査結果

在宅療養支援医療機関が診ている(在宅人工呼吸指導管理料 C107 を算定している) 在宅人工呼吸管理患者の居住地別人数(令和6年6月1日~6月30日時点)

在宅医療を担う医療機関が診ている在宅人工呼吸管理患者は、20 歳未満では 133 名、20 歳~65 歳 未満では 123 名、65 歳以上では 127 名であった。

患者の居住地域は、20 歳未満では、福岡市が62名と最も多く、次いで久留米市が13名、北九州市が6名であった。20歳以上(65歳以上含む)では、福岡市が103名で、他の市区町村より顕著に多く、次いで北九州市が16名であった。

(表2) 在宅療養支援医療機関の在宅人工呼吸管理患者の居住地別人数

二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20歳以上 65歳未満 の患者数	高齢者 (65歳以上) の患者数	左記 患者合計
	福岡市	62	60	43	165
	東区	21	14	10	45
福岡 火 自	博多区	11	9	8	28
	中央区	3	7	2	12
	南区	5	13	8	26
福岡・糸島	西区	10	4	5	19
	城南区	7	4	5	16
	早良区	5	9	5	19
	糸島市	8	3	3	14
	保健医療圏合計	70	63	46	179
	古賀市	2	1	4	7
	糟屋郡				
	宇美町	2	1	2	5
	篠栗町	0	0	0	0
₩4 🖻	志免町	2	1	3	6
粕屋	須恵町	0	1	3	4
	新宮町	0	0	0	0
	久山町	0	0	0	0
	粕屋町	1	0	0	1
	保健医療圏合計	7	4	12	23
	宗像市	1	7	6	14
宗像	福津市	4	0	2	6
	保健医療圏合計	5	7	8	20
	筑紫野市	5	3	0	8
	春日市	4	2	0	6
<i>ሎ</i> ታ	大野城市	0	2	3	5
筑紫	太宰府市	4	7	2	13
	那珂川市	1	0	0	1
	保健医療圏合計	14	14	5	33

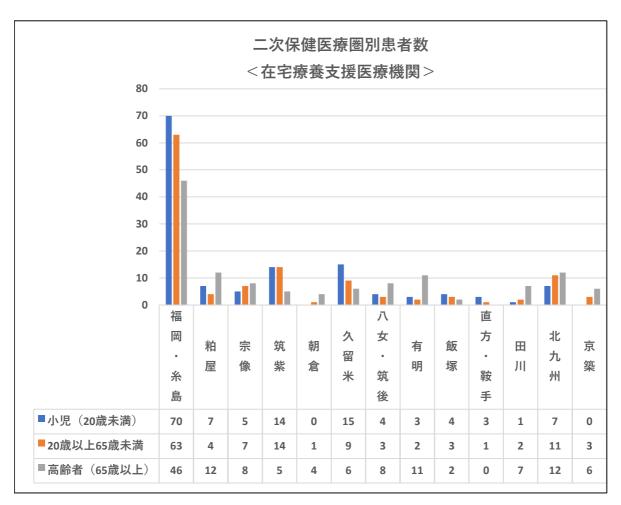
二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満)	20 歳以上 65 歳未満	高齢者 (65 歳以上)	左記 患者合計
- 		の患者数	の患者数	の患者数	
	朝倉市	0	0	3	3
	朝倉郡				
朝倉	筑前町	0	1	1	2
	東峰村	0	0	0	0
	保健医療圏合計	0	1	4	5
	久留米市	13	5	4	22
	大川市	1	0	1	2
	小郡市	1	2	0	3
久留米	うきは市	0	0	0	0
	三井郡大刀洗町	0	1	1	2
	三潴郡大木町	0	1	0	1
	保健医療圏合計	15	9	6	30
	八女市	1	1	0	2
八女·筑後	筑後市	3	0	2	5
八叉 巩皮	八女郡広川町	0	2	6	8
	保健医療圏合計	4	3	8	15
	大牟田市	2	2	4	8
 有明	柳川市	1	0	5	6
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	みやま市	0	0	2	2
	保健医療圏合計	3	2	11	16
	飯塚市	2	3	1	6
飯塚	嘉麻市	0	0	1	1
以场	嘉穂郡桂川町	2	0	0	2
	保健医療圏合計	4	3	2	9
	直方市	2	0	0	2
	宮若市	0	1	0	1
古士 物工	鞍手郡				
直方·鞍手	小竹町	0	0	0	0
	鞍手町	1	0	0	1
	保健医療圏合計	3	1	0	4
	田川市	0	1	3	4
	田川郡				
	香春町	0	1	0	1
	添田町	0	0	0	0
m	糸田町	0	0	1	1
田川	川崎町	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0
	赤村	0	0	0	0
	福智町	1	0	3	4
	保健医療圏合計	1	2	7	10

二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20 歳以上 65 歳未満 の患者数	高齢者 (65歳以上) の患者数	左記 患者合計
	北九州市	6	8	8	22
	門司区	0	1	1	2
	小倉北区	2	0	0	2
	小倉南区	0	2	1	3
	若松区	1	0	0	1
	八幡東区	0	1	2	3
	八幡西区	2	3	3	8
北九州	戸畑区	1	1	1	3
	中間市	1	1	0	2
	遠賀郡				
	芦屋町	0	0	1	1
	水巻町	0	0	1	1
	岡垣町	0	2	2	4
	遠賀町	0	0	0	0
	保健医療圏合計	7	11	12	30
	行橋市	0	2	4	6
	豊前市	0	0	1	1
	京都郡				
	苅田町	0	0	0	0
京築	みやこ町	0	0	0	0
水来 	築上郡				
	吉富町	0	0	1	1
	上毛町	0	0	0	0
	築上町	0	1	0	1
	保健医療圏合計	0	3	6	9
福岡県合計		133	123	127	383

	小児 (20 歳未満) の患者数	20 歳以上 65 歳未満 の患者数	高齢者 (65歳以上) の患者数	左記 患者合計
県外患者	1	2	0	3



(図3)



(図4)

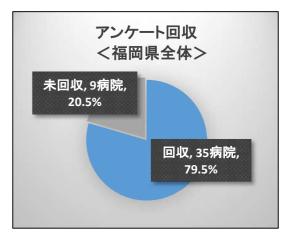
令和6年度福岡県小児等在宅医療推進事業 災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査結果 (地域中核病院小児診療科)

1. 小児診療科のある地域中核病院数とアンケート調査票回収数

県内で小児診療科がある地域中核病院は44病院であり、うち総合・地域周産期母子医療センターが設置されている病院(NICUがある病院)は12病院である。県内各地域・二次保健医療圏別の病院数とアンケート回収数を下表に記す。35病院より回答を得ており、回収率は79.5%であった。総合・地域周産期母子医療センターが設置されている病院すべてから回答があった。

(表1) 小児診療科のある地域中核病院数とアンケート回答数 (カッコ内は総合・地域周産期母子医療センターの数)

(カッコ内は総合・地域周産期母子医療センターの数)						
地域	二次保健		アンケ 回答			
	福岡·糸島	11	(4)	9	(4)	
	粕屋	1		1		
福岡地区	宗像	1		1		
	筑紫	2	(1)	2	(1)	
	地区合計	15	(5)	13	(5)	
	朝倉	1		1		
	久留米	4	(2)	4	(2)	
筑後地区	八女·筑後	2		1		
	有明	4		1		
	地区合計	11	(2)	7	(2)	
	飯塚	2	(1)	1	(1)	
筑豊地区	直方·鞍手	2		2		
N豆地区 	田川	2		2		
	地区合計	6	(1)	5	(1)	
	北九州	11	(4)	10	(4)	
北九州地区	京築	1		0		
	地区合計	12	(4)	10	(4)	
福岡県全体	県合計	44	(12)	35	(12)	



(図1)

2. 調査結果

地域中核病院小児診療科が診でいる(在宅人工呼吸指導管理料 C107 を算定している) 在宅人工呼吸管理患者の居住地別人数(令和6年6月1日~6月30日時点)

地域中核病院小児診療科が診ている在宅人工呼吸管理患者は、20 歳未満では 147 名、20 歳以上(42 歳が最年長)では 32 名であった。

患者の居住地域は、20歳未満では北九州市が44名と最も多く、次いで福岡市が23名、久留米市が10名であった。20歳以上では北九州市が11名、次いで久留米市が3名、福岡市とみやこ町が2名であった。

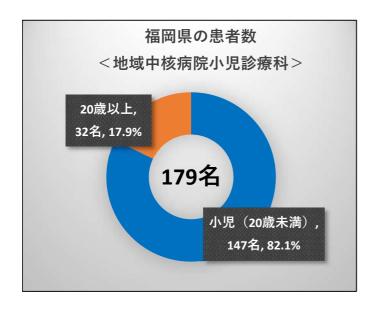
(表2) 地域中核病院小児診療科の在宅人工呼吸管理患者の居住地別人数

二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20歳以上 の患者数	左記 患者合計
	福岡市	23	2	25
	東区	7	0	7
	博多区	3	1	4
	中央区	2	0	2
│ │ 福岡・糸島	南区	3	0	3
伸问 水局	西区	3	1	4
	城南区	0	0	0
	早良区	5	0	5
	糸島市	0	0	0
	保健医療圏合計	23	2	25
	古賀市	1	0	1
	糟屋郡			
	宇美町	0	0	0
	篠栗町	2	0	2
₩6 ■	志免町	0	0	0
粕屋	須恵町	1	0	1
	新宮町	0	0	0
	久山町	1	0	1
	粕屋町	1	0	1
	保健医療圏合計	6	0	6
	宗像市	2	0	2
宗像	福津市	3	0	3
	保健医療圏合計	5	0	5
	筑紫野市	4	1	5
	春日市	1	1	2
筑紫	大野城市	1	0	1
巩糸	太宰府市	3	0	3
	那珂川市	0	0	0
	保健医療圏合計	9	2	11

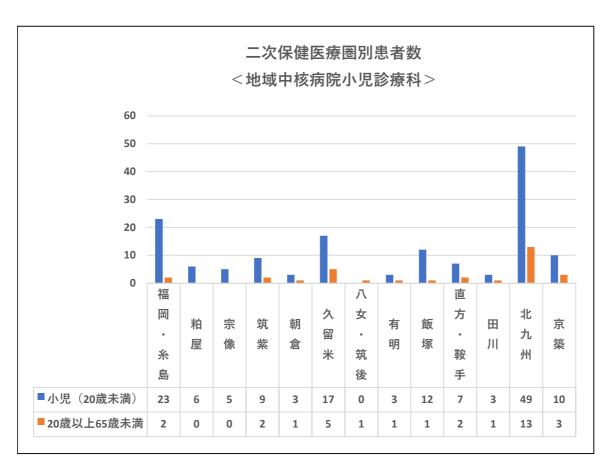
二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20歳以上 の患者数	左記 患者合計
	朝倉市	2	1	3
	朝倉郡			
朝倉	筑前町	1	0	1
	東峰村	0	0	0
	保健医療圏合計	3	1	4
	久留米市	10	3	13
	大川市	0	0	0
	小郡市	6	1	7
久留米	うきは市	0	0	0
	三井郡大刀洗町	1	1	2
	三潴郡大木町	0	0	0
	保健医療圏合計	17	5	22
	八女市	0	1	1
八女·筑後	筑後市	0	0	0
八叉 巩皮	八女郡広川町	0	0	0
	保健医療圏合計	0	1	1
	大牟田市	2	0	2
有明	柳川市	1	0	1
19 49 49	みやま市	0	1	1
	保健医療圏合計	3	1	4
	飯塚市	7	1	8
飯塚	嘉麻市	4	0	4
以场	嘉穂郡桂川町	1	0	1
	保健医療圏合計	12	1	13
	直方市	5	1	6
	宮若市	1	1	2
┃ ┃ 直方・鞍手	鞍手郡		0	
□ 直刀 [*] 较于	小竹町	0	0	0
	鞍手町	1	0	1
	保健医療圏合計	7	2	9
	田川市	1	1	2
	田川郡			
	香春町	0	0	0
	添田町	0	0	0
田川	糸田町	0	0	0
	川崎町	0	0	0
	大任町	0	0	0
	赤村	0	0	0
	福智町	2	0	2
	保健医療圏合計	3	1	4

二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20 歳以上 の患者数	左記 患者合計
	北九州市	44	11	55
	門司区	1	0	1
	小倉北区	10	1	11
	小倉南区	13	2	15
	若松区	2	0	2
	八幡東区	3	1	4
	八幡西区	13	7	20
北九州	戸畑区	2	0	2
	中間市	0	0	0
	遠賀郡			
	芦屋町	0	0	0
	水巻町	2	1	3
	岡垣町	2	1	3
	遠賀町	1	0	1
	保健医療圏合計	49	13	62
	行橋市	5	0	5
	豊前市	0	0	0
	京都郡			
	苅田町	4	1	5
京築	みやこ町	1	2	3
水 菜	築上郡			
	吉富町	0	0	0
	上毛町	0	0	0
	築上町	0	0	0
	保健医療圏合計	10	3	13
福岡県合計		147	32	179

	小児 (20 歳未満) の患者数	20 歳以上 の患者数	左記 患者合計
県外患者	9	1	10



(図2)



(図3)

令和6年度福岡県小児等在宅医療推進事業 災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査結果 (調査対象全医療機関の患者数総計)

1. 県内の調査対象全医療機関の在宅人工呼吸管理の患者数総計

(在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、「在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料」の届け出がある病院・診療所、地域中核病院小児診療科の総計)

調査対象全医療機関の福岡県在住の在宅人工呼吸管理患者は、20 歳未満では 280 名、20 歳以上では 282 名 (内 65 歳以上は 127 名) であった。

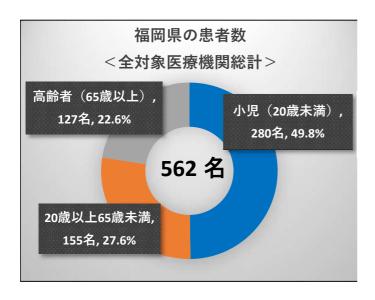
(表1) 調査対象全医療機関の在宅人工呼吸管理患者の居住地別人数

二次保健 医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20歳以上 65歳未満 の患者数	高齢者 (65歳以上) の患者数	左記 患者合計
	福岡市	85	62	43	190
	東区	28	14	10	52
	博多区	14	10	8	32
	中央区	5	7	2	14
 福岡・糸島	南区	8	13	8	29
恒问"术局	西区	13	5	5	23
	城南区	7	4	5	16
	早良区	10	9	5	24
	糸島市	8	3	3	14
	保健医療圏合計	93	65	46	204
	古賀市	3	1	4	8
	糟屋郡				
	宇美町	2	1	2	5
	篠栗町	2	0	0	2
上 料屋	志免町	2	1	3	6
仁 //	須恵町	1	1	3	5
	新宮町	0	0	0	0
	久山町	1	0	0	1
	粕屋町	2	0	0	2
	保健医療圏合計	13	4	12	29
	宗像市	3	7	6	16
宗像	福津市	7	0	2	9
	保健医療圏合計	10	7	8	25
	筑紫野市	9	4	0	13
	春日市	5	3	0	8
筑紫	大野城市	1	2	3	6
以 糸	太宰府市	7	7	2	16
	那珂川市	1	0	0	1
	保健医療圏合計	23	16	5	44

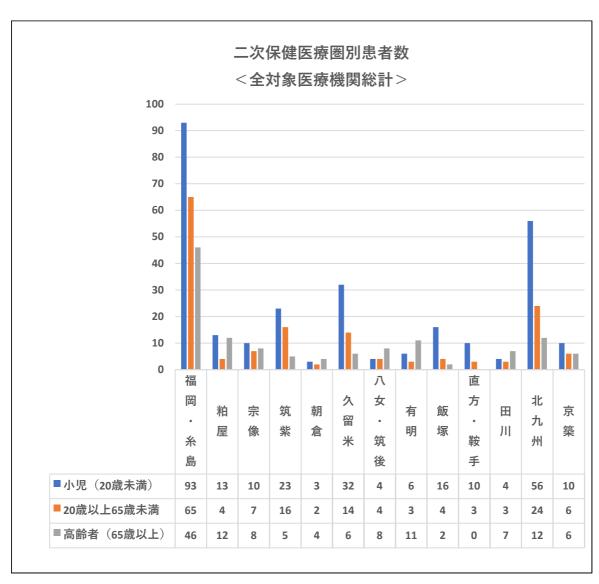
二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20 歳以上 65 歳未満 の患者数	高齢者 (65 歳以上) の患者数	左記 患者合計
	朝倉市	2	1	3	6
	朝倉郡				
朝倉	筑前町	1	1	1	3
	東峰村	0	0	0	0
	保健医療圏合計	3	2	4	9
	久留米市	23	8	4	35
	大川市	1	0	1	2
	小郡市	7	3	0	10
久留米	うきは市	0	0	0	0
	三井郡大刀洗町	1	2	1	4
	三潴郡大木町	0	1	0	1
	保健医療圏合計	32	14	6	52
	八女市	1	2	0	3
│ │ 八女•筑後	筑後市	3	0	2	5
八女 巩佞	八女郡広川町	0	2	6	8
	保健医療圏合計	4	4	8	16
	大牟田市	4	2	4	10
有明	柳川市	2	0	5	7
有奶	みやま市	0	1	2	3
	保健医療圏合計	6	3	11	20
	飯塚市	9	4	1	14
飯塚	嘉麻市	4	0	1	5
以 场	嘉穂郡桂川町	3	0	0	3
	保健医療圏合計	16	4	2	22
	直方市	7	1	0	8
	宮若市	1	2	0	3
│ │ 直方・鞍手	鞍手郡				
直刀 鞍士	小竹町	0	0	0	0
	鞍手町	2	0	0	2
	保健医療圏合計	10	3	0	13
	田川市	1	2	3	6
	田川郡				
	香春町	0	1	0	1
	添田町	0	0	0	0
田川	糸田町	0	0	1	1
四川	川崎町	0	0	0	0
	大任町	0	0	0	0
	赤村	0	0	0	0
	福智町	3	0	3	6
	保健医療圏合計	4	3	7	14

二次保健医療圏	患者の居住 郡市(区・町村)	小児 (20 歳未満) の患者数	20歳以上 65歳未満 の患者数	高齢者 (65歳以上) の患者数	左記 患者合計
	北九州市	50	19	8	77
	門司区	1	1	1	3
	小倉北区	12	1	0	13
	小倉南区	13	4	1	18
	若松区	3	0	0	3
	八幡東区	3	2	2	7
	八幡西区	15	10	3	28
北九州	戸畑区	3	1	1	5
	中間市	1	1	0	2
	遠賀郡				
	芦屋町	0	0	1	1
	水巻町	2	1	1	4
	岡垣町	2	3	2	7
	遠賀町	1	0	0	1
	保健医療圏合計	56	24	12	92
	行橋市	5	2	4	11
	豊前市	0	0	1	1
	京都郡				
	苅田町	4	1	0	5
京築	みやこ町	1	2	0	3
水 策	築上郡				
	吉富町	0	0	1	1
	上毛町	0	0	0	0
	築上町	0	1	0	1
	保健医療圏合計	10	6	6	22
福岡県合計		280	155	127	562

	小児 (20 歳未満) の患者数	20 歳以上 65 歳未満 の患者数	高齢者 (65歳以上) の患者数	左記 患者合計
県外患者	10	3	0	13



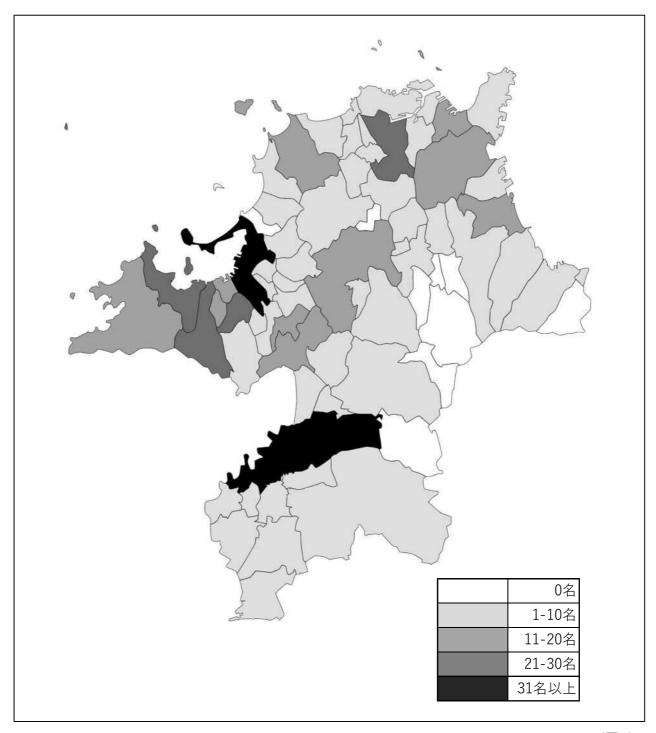
(図1)



(図2)

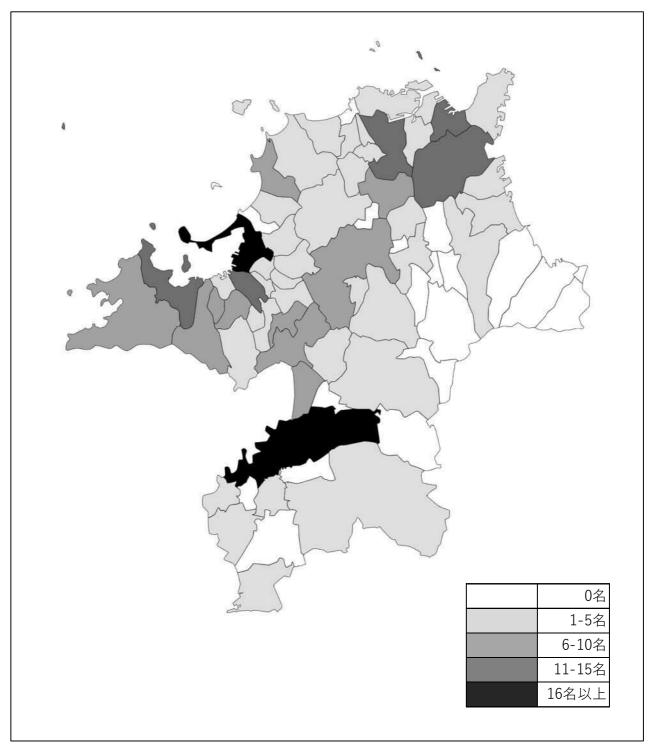
2. 市区町村別の患者分布

市区町村別患者分布図 (全年齢)



(図3)

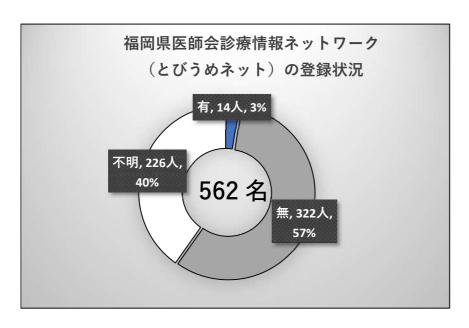
市区町村別患者分布図(小児:20歳未満)



(図4)

3. 福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」への登録状況

緊急時に迅速で適切な医療を支援することができる、福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」への登録があった患者は、全患者 562 名中 14 名 (約 2.5%)、登録なしとの回答は 322 名 (57.3%)、不明が 226 名であった。



(図5)

調査票

様式1

災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査 (在宅療養支援医療機関全数調查)

この調査は福岡県から委託を受けた九州大学病院が、県内の医療機関に対して実施するものです。 在宅療養患者は増加傾向にあり、個別の災害対策が求められています。とりわけ在宅人工呼吸患者 は、ライフライン確保や避難等に濃厚な支援を必要とし喫緊の課題となっています。そのため、在 宅人工呼吸患者の全数把握を目的にパイロット調査を実施いたします。

貴院名	ご記入者	

- 令和6年6月1日~6月30日時点での下記の算定患者の有無をお聞きします。 (○にレ点を記入、または●黒丸にしてください。)
 - · 在宅人工呼吸指導管理料 C107 の算定患者(年齢は問わない): あり なし
- 2 上記の質問で「あり」と回答の場合、下記の表に算定患者情報をご記入ください。 (患者数が多い場合は裏面もご利用ください。)

*福岡県医師会診療情報ネットワーク(とびうめネット)は、かかりつけ医が 同意を得た患者情報を登録し、緊急時に迅速で適切な医療を支援することができる情報ネットワークです。災害時にもその役割が期待されます。

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗像市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
1			
2			
3			
4			
5			

今回の調査内容は、市町村、医師会及び関係公的機関(災害時小児周産期リエゾン、災害派遣医療チーム を含む)等から依頼などがあった場合、必要に応じて個別の医療機関の回答内容を情報提供することがあります。また、回答の地区別の集計値に関しまして報告書に記載予定ですが、個々の患者の情報、施設情 報は掲載されません。

【回答提出】: 下記の①、②のいずれかの方法で回答を提出してください。

- ① 同封の調査票に記入し、返信用封筒で提出
- ② 下記の URL よりデジタル版の調査票をダウンロードし、e メールで添付ファイルとして提出 タ*ウンロート* URL: https://archive.iii.kyushu-

u.ac.jp/public/9kZAgM4lez9XTerTyGTZVwpQaSfgZpW9uyY1Hs5dBsfs

(パスワード) 5982

e-mail アドレス: shonizaitaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

【回答期限】: 令和6年10月4日(金)

QR

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗像市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

*** ご協力ありがとうございました ***

災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査(在宅療養支援医療機関全数調査)

調査票

様式2

この調査は福岡県から委託を受けた九州大学病院が、県内の医療機関に対して実施するものです。 在宅療養患者は増加傾向にあり、個別の災害対策が求められています。とりわけ在宅人工呼吸患者 は、ライフライン確保や避難等に濃厚な支援を必要とし喫緊の課題となっています。そのため、在 宅人工呼吸患者の全数把握を目的にパイロット調査を実施いたします。

貴院名	ご記入者	

- 1 令和6年6月1日~6月30日時点での下記の算定患者の有無をお聞きします。 (○にレ点を記入、または●黒丸にしてください。)
 - ・在宅人工呼吸指導管理料 C107 の算定患者、および在宅中心静脈栄養法指導管理料 C104 を算定しているが、在宅人工呼吸指導管理料 C107 の要件を満たしている患者(年齢不問): 〇 あり 〇 なし
- 2 上記の質問で「あり」と回答の場合、下記の表に算定患者情報をご記入ください。 (患者数が多い場合は裏面もご利用ください。)

*福岡県医師会診療情報ネットワーク(とびうめネット)は、かかりつけ医が 同意を得た患者情報を登録し、緊急時に迅速で適切な医療を支援することが できる情報ネットワークです。災害時にもその役割が期待されます。

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗像市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
1			
2			
3			
4			
5			

今回の調査内容は、市町村、医師会及び関係公的機関(災害時小児周産期リエゾン、災害派遣医療チームを含む)等から依頼などがあった場合、必要に応じて個別の医療機関の回答内容を情報提供することがあります。また、回答の地区別の集計値に関しまして報告書に記載予定ですが、個々の患者の情報、施設情報は掲載されません。

【回答提出】: 下記の方法で回答を提出してください。

- ① 同封の調査票に記入し、返信用封筒で提出
- ② 記入した調査票を PDF に変換し、下記の e メールアドレスに添付ファイルとして提出 * 調査票のデジタル版をご希望の際は下記の e メールアドレスにご連絡ください。

e-mail アドレス: shonizaitaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

【回答期限】: 令和6年10月4日(金)

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗像市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

*** ご協力ありがとうございました ***

災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査 (地域中核病院小児診療科全数調査)

調査票

様式 1

この調査は福岡県から委託を受けた九州大学病院が、県内の医療機関に対して実施するものです。 在宅療養患者は増加傾向にあり、個別の災害対策が求められています。とりわけ在宅人工呼吸患者 は、ライフライン確保や避難等に濃厚な支援を必要とし喫緊の課題となっています。そのため、在 宅人工呼吸患者の全数把握を目的にパイロット調査を実施いたします。

貴院名		
ご記入者	所属部署	氏名

- 令和6年6月1日~6月30日時点での下記の算定患者の有無をお聞きします。 (○にレ点を記入、または●黒丸にしてください。)
 - ・在宅人工呼吸指導管理料 C107 の算定患者(年齢は問わない): 〇 あり 〇 なし
- 2 上記の質問で「あり」と回答の場合、下記の表に算定患者情報をご記入ください。

*福岡県医師会診療情報ネットワーク(とびうめネット)は、かかりつけ医が 同意を得た患者情報を登録し、緊急時に迅速で適切な医療を支援することが できる情報ネットワークです。災害時にもその役割が期待されます。

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗像市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗 像 市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

調査票

災害対策を目的とした在宅人工呼吸患者の調査(地域中核病院小児診療科全数調査)

様式2

この調査は福岡県から委託を受けた九州大学病院が、県内の医療機関に対して実施するものです。 在宅療養患者は増加傾向にあり、個別の災害対策が求められています。とりわけ在宅人工呼吸患者 は、ライフライン確保や避難等に濃厚な支援を必要とし喫緊の課題となっています。そのため、在 宅人工呼吸患者の全数把握を目的にパイロット調査を実施いたします。

貴院名		
ご記入者	所属部署	氏名

- **1 令和6年6月1日~6月30日時点**での下記の算定患者の有無をお聞きします。 (○にレ点を記入、または●黒丸にしてください。)
 - ・在宅人工呼吸指導管理料 C107 の算定患者、および在宅中心静脈栄養法指導管理料 C104 を算定しているが、在宅人工呼吸指導管理料 C107 の要件を満たしている患者(年齢不問): 〇 あり 〇 なし
- 2 上記の質問で「あり」と回答の場合、下記の表に算定患者情報をご記入ください。

*福岡県医師会診療情報ネットワーク(とびうめネット)は、かかりつけ医が 同意を得た患者情報を登録し、緊急時に迅速で適切な医療を支援することが できる情報ネットワークです。災害時にもその役割が期待されます。

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗像市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

NO	年齢 (2024/6/30 時点)	住所(郡市区、郡では町まで) 例:福岡市東区、宗 像 市、糟屋郡志免町	福岡県医師会診療情報ネットワーク (とびうめネット)への登録 あり○、なし×、不明△
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			